

報道関係者各位

2017年9月22日

公益財団法人日本バドミントン協会
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン 2017 バドミントン選手権大会にて
世界バドミントン連盟と日本バドミントン協会、日本アンチ・ドーピング機構による
アンチ・ドーピング啓発ブースの出展

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構（所在地：東京都北区、会長：鈴木秀典、以下 JADA）と、世界バドミントン連盟（所在地：マレーシア 会長：ポール・エリック・ホイヤー、以下 BWF）、公益財団法人 日本バドミントン協会（所在地：東京都渋谷区 会長：綿貫 民輔、以下 NBA）は、2017年9月19日（火）～24日（日）に開催される国際バドミントン大会「ダイハツ・ヨネックスジャパンオープン 2017 バドミントン選手権大会」にて、アスリートを対象とした「アンチ・ドーピング啓発ブース “i am Badminton*1 x PLAY TRUE 2020*2”」を2017年9月18日（月）、19日（火）に出展いたしました。

本ブースでは、アスリートへのアンチ・ドーピングの啓発ならびに、クリーンスポーツへのコミットメントを、世界で活躍するアスリートから、ユースアスリートやスポーツに興味を持つ多くの人へ発信することを目的に、以下の内容を実施しました。

- ・アンチ・ドーピングクイズ（世界アンチ・ドーピング機構制作）
- ・クリーンスポーツへのコミットメントとして、キャンペーンフラッグへのサイン
- ・クリーンスポーツへのメッセージ写真・動画撮影



本ブースには、BWF のインテグリティ・アンバサダーを務める高橋礼華選手・松友美佐紀選手のほかに、世界で活躍する奥原希望選手、山口茜選手、リー・チョンウェイ選手、ビクター・アクセルセン選手など多くのアスリートに参加頂きました。参加したアスリートの声をもとに制作したショートクリップは以下で閲覧できます。

<https://www.facebook.com/Japan-Anti-Doping-Agency-122700971113230/>

BWF との連携のもと、今後も NBA と JADA では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のホスト国として、スポーツにおけるインテグリティを目指し、クリーンなスポーツを作るための機会、プログラムを創出してまいります。

***1 “i am Badminton”:**

BWF が 2015 年にローンチしたグローバル・インテグリティ・キャンペーン。日本から BWF インテグリティ・アンバサダーとして高橋礼華選手・松友美佐紀選手が活動に参加しています。本キャンペーンは、ドーピングの他にも八百長、違法賭博、汚職などのスポーツの未来を脅かす問題に対して、アスリートが中心となり、クリーンでフェアなスポーツに参加する権利を守る活動として、世界的に展開されています。

キャンペーンサイト <http://bwfcorporate.com/integrity/i-am-badminton/>

***2 “PLAY TRUE 2020”:**

日本国政府が推進するスポーツを通じた国際貢献事業「Sport for Tomorrow」における国際アンチ・ドーピング強化支援事業。スポーツの価値・精神を基盤とし、スポーツにおけるインテグリティを守る活動としてのアンチ・ドーピング活動を、国際競技連盟・国内競技連盟、海外アンチ・ドーピング機構と連携して展開しています。

プロジェクトサイト <http://playtrue2020-sp4t.jp/>